

機関番号	整理番号
0000	00000

平成31年度（2019年度）研究成果公開促進費（研究成果公開発表(B)）計画調査書

平成XX年XX月XX日 1版

審査区分・ 区分内番号	審査区分		区分内番号	
			(番号) 000	
主催団体名				
代表者氏名	(フリガナ)			
	(漢字等)			
代表者職名				
主催団体所在地	〒			
事務連絡先	(氏名)			
	(職名)			
シンポジウム・ 学術講演会等名				
開催予定日	年 月 日() 年 月 日()			
会場名				
開催地				
シンポジウム・ 学術講演会等 の対象	小学生 中学生 高校生 大学生 社会人			
主たる対象と その理由	(主たる対象)			
	(主たる対象とした理由)			
参加予定人数	人			

1 シンポジウム・学術講演会等開催の目的

本欄には、社会的背景なども含め、本シンポジウム等を開催する意義など焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

計画調書出力エラー

2 シンポジウム・学術講演会等の概要

本欄には、参加対象に応じたテーマ・内容であることが具体的にわかるよう記述してください。なお、同じ内容でシンポジウム・学術講演会等を2ヶ所以上で開催する場合には、全体の開催計画がわかるよう記述してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

計画調書出力エラー

3 シンポジウム・学術講演会等が及ぼす効果

本欄には、シンポジウム・学術講演会等の開催によって参加者に及ぼす効果を記述してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

計画調書出力中

4 重複応募の状況

本欄には、同一団体が、平成31年度科学研究費助成事業（研究成果公開発表（B））に2件応募している場合には、次の点について、簡潔に記述してください。

- ① 応募しているもう1件のシンポジウム・学術講演会等の概要
- ② 本計画調書で応募した内容との相違点

なお、該当しない場合（同一団体から1件のみ応募している場合）は、「該当なし」と記述してください。

※1頁以内で記述してください。

計画調書出力キャンセル

応募経費

応募経費	合計(千円)	費目別内訳(千円)			
		会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
会場借料					
事項					金額(千円)
必要性・ 妥当性等					
消耗品費					
事項					金額(千円)
必要性・ 妥当性等					
人件費・謝金					
事項					金額(千円)
必要性・ 妥当性等					
その他					
事項					金額(千円)
必要性・ 妥当性等					
前年度の応募状況					

国立国会図書館蔵書

過去3年間に実施した青少年・社会人対象のシンポジウム・学術講演会等開催状況

シンポジウム・学術講演会等名	開催日	開催場所	対象者	人数
				人
				人
				人
				人
				人
				人
				人
				人
				人
				人
				人
				人
				人

資料公開禁止

過去の研究成果公開促進費（研究成果公開発表（B））の実績

1. 採択年度（西暦） 2. シンポジウム・学術講演会等名 3. 課題番号	開催日	開催場所	対象者	人数
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人
1. 年度 2. 3.				人

国立研究開発法人 理化学研究所

経理管理事務・監査体制

本欄には、「学会、学協会」の経理管理事務体制、監査体制について次の点を記述してください。

- ① 経理管理事務を行う事務組織（機構図、職名、員数、役割）
- ② 担当事務責任者
- ③ 経理関係規則等の名称（経理関係規則等については、科研費電子申請システムにアップロードして提出してください。）
- ④ 監査体制
- ⑤ 監査実績（平成29年4月1日以降のもの（予定を含む）とし、内部監査、外部監査の別に記述してください。）
（研究成果公開発表は「主催団体」、国際情報発信強化は「学術団体等」、データベースは「学術団体等」について記述する。）

※経理管理事務体制、監査体制を合わせて1頁以内で記述してください。

計画調書出力完了